



1村1自然エネルギー プロジェクト

平成 25 年 9 月 18 日



団体名 合同会社下平銭亀洞小水力発電所

職 氏名 代表社員 北原初美



合同会社下平銭亀洞小水力発電所は、信州の自然エネルギー資源を活かした「1村1自然エネルギープロジェクト」を以下のとおり推進しています。

区 分	摘 要
取組の名称	駒ヶ根市自然エネルギー水力発電第2号プロジェクト
取組の主体	合同会社下平銭亀洞小水力発電所
取組の構成団体名 (複数の者で構成する場合)	協力者等：社会福祉協議会、商工会下平支部、農業協同組合、土地改良区、駒ヶ根市下平福祉・教育・文化を愛する会、太田切川環境・景観整備委員会、駒ヶ根市
普及する自然エネルギーの種別等	小水力発電
取組の目的	自然エネルギー事業の普及・啓発 売電収益を地域へ還元し、住民の安心安全で住みよい地域づくり 地元企業主体での製作による駒ヶ根ブランド発電の構築
地域関係者との協働の 内 容	地域住民出資による地域主導での運営
プロジェクトの部門	① 地域づくり、② ソーシャルビジネス、③ 開発研究、 ④ その他（場作りなど）
取組（事業）の段階	① 構思想段階 ② 実施段階 ③ 発展段階
取組の概要	下平地域住民の有志による地域主導で水力発電所を建設。製作は地元企業が主体となり、このプロジェクトチームで駒ヶ根ブランド発電を完成し、完全なる発電施設のパッケージの構築を図り、再生可能エネルギー事業の普及・啓発を広く展開する事を目標とする。 発電した電力は売電を行ない、その収益を地域振興策として地域へ還元し、住民の安心安全で住みよい地域づくりを行なう。
事務局担当者の 連 絡 先	担当者所属 合同会社下平銭亀洞小水力発電所 氏名 北原初美
備 考	TEL 0265-83-5431 email

注) 変更登録申請を行う場合は、変更箇所の下線を引いてください。



区 分	内 容
取組の内容	<p>当プロジェクトは、太田切川環境・景観整備事業の一環として昨年作られた、駒ヶ根市自然エネルギー水力発電1号に続き第2号建設の話が持ち上がりスタートした。</p> <p>■平成24年4月 下平地域住民有志により、小水力発電所建設準備会を立ち上げた。有望地の検討を行なう中、現地調査や既存資料、地元の要望により駒ヶ根市北部地域の排水路銭亀洞川に選定する。同年7月 地元住民や土地改良区に説明会を行い、同意を頂く。</p> <p>■平成25年2月 下平区地縁団体、駒ヶ根土地改良区、駒ヶ根市の協力による講演会を開催、長野県環境部温暖対策課の課長を招き長野県の小水力発電の取組みについて講義して頂き、地域住民の理解を深めた。同年6月 事業を継続して行う必要がある為、小水力発電所建設準備会を合同会社とし合同会社下平銭亀洞小水力発電所設立に至った。現在は今年11月建設工事着工に向け、測量・施設詳細設計・機械・電気詳細設計を行なっている。平成26年3月に完成予定、4月からの稼働を予定している。</p>
取組を行うコミュニティの区域	駒ヶ根市下平地区
構成員の役割	事業主体：合同会社下平銭亀洞小水力発電所
現に活動しているかの有無	有り（平成25年6月6日登記完了 活動2年目）
活動の成果等の帰属	下平地域住民
普及推進体制	地元企業主体の『駒ヶ根ブランド発電プロジェクトチーム』を結成し、自然エネルギー事業の普及推進を行なう。
取組の有効性	地域住民協働で発電を行なうことにより、自然エネルギーへの知識や関心が高まり、次の事業へ反映する事が出来る。又、地域に密着した団体が運営することにより、運営管理コストの低減も図られる。
継続性及び発展性	駒ヶ根市は河川や多くの農業用水路を豊富に有し小水力発電に適した地域である為、駒ヶ根ブランド発電プロジェクトによって次への事業展開が期待できる。
関係法令の手続き状況	中部電力、産業大臣、上伊那地方事務所林務課と協議中
団体設立年月日	平成24年4月10日
ホームページ	
備考	

添付書類 ①組織の規約（市町村の場合は不要）、②プロジェクトの概要書（別紙）、③構成員名簿、④取組の内容の分かる資料（写真等）

注）変更登録申請を行う場合は、変更箇所の下線を引いてください。

